

地方公共団体における技能労務職員の給料表の形態

○ 給料表のパターン

パターン1「行(二)」

国の行(二)と全く同じ（5級制）

パターン2「行(二)相当」

国の行政職給料表(二)に、行政職給料表(一)の6級を追加、1級～3級の号給を追加 等

パターン3「行(一)相当」

一般行政職給料表の1級～5級と同じ 等

パターン4「合成」

国行(二)の1級～4級と行(一)の5級・6級を合成 等
(独自部分よりも合成部分の比重が大きい。)

パターン5「独自」

国の旧行(二)（6級制）、一般行政職給料表（独自給料表）の1級～5級、
全くの独自 等

○ パターン別の団体数

(平成20年1月1日現在)

区分	都道府県	政令指定都市	市区町村	合計
行(二)	4	0	617	621
行(二)相当	7	3	101	111
行(一)相当	15	0	580	595
合成	14	0	165	179
独自	7	14	234	255
合計	47	17	1,697	1,761

※1 平成20年1月1日現在市区町村数 1,803団体

※2 平成20年1月1日現在で技能労務職員がいない団体 106団体